

ルカの福音書 第1章 45節

「主によって語られたことは必ず実現すると信じきった人は、何と幸いなことでしょう。」

この言葉の交わりは高齢になり、子を宿すちからをすでに失った者が主の約束により子を授かった者と、そして未婚の女性が御使いのお告げで子を宿すことになった者との間で起こりました。二人とも主なる神からのおことばを信じ約束の子を授かりました。

彼らそれぞれがみことばを信じ、その約束を信じきったのです。年齢からすればありえないことです。また未婚の女性には起こり得ないことです。彼らの置かれた状況では、告げられた約束を信じて疑わず、約束の実現を耐えて待つことは極めて難しいところです。しかし、彼らは置かれた状況に取り込まれることなく、告げられた約束のことばを信頼します。みことばに聞き、信じます。

主の約束を信じきった二人に神の出来事が起こります。外から聞こえたみことばが、信じる二人の内なるみことばとなり、彼らの生涯が変えられます。一人はメシヤの先駆け、道を整えるバプテスマのヨハネの母となり、他の一人はメシヤ、イエス・キリストの母となります。やがて二人の母は、子らの死を無惨な姿で迎えることとなります。だが、主のみことばを信じきった母たちです。